

中野区基本構想について

1 位置づけ

中野区基本構想（以下「基本構想」という。）は、中野区に住む人だけでなく、中野のまちで働き、学び、活動する人々が力をあわせて互いの暮らしやまちの豊かさを高めていくための区民すべての共通目標である。また、同時に、区が区民の信託に基づき行政を進める上で、もっとも基本的な区政運営の指針である。

適切な将来予測に基づいて、真に豊かな地域社会をつくりあげていくための基本理念や、まちの理想像を将来像として掲げた上で、10年後に実現するまちの姿を明らかにするものである。

2 策定の経緯

昭和56年（1981年）に「ともにつくる人間のまち中野」を基本理念に、中野区として初めての基本構想を制定した。

その後、20年を超え、平成17年（2005年）に、新たな時代に向け社会状況の変化等を踏まえ、幅広い区民の参加を得て、「生かされる個性、発揮される力」を基本理念とした現行の基本構想を制定し、平成22年（2010年）に改定を行った。

3 基本構想の構成及び新しい中野をつくる10か年計画との関係性

（1）基本構想の構成

第1章 新たな時代に向け

制定の経緯、制定の趣旨等について記載

第2章 中野のまちの基本理念

基本理念「生かされる個性、発揮される力」について記載

第3章 中野のまちの将来像

10年後以降を見据えた中野のまちの将来像について、4つの領域ごとに記載
《4つの領域》

I 持続可能な活力あるまちづくり

II 自立してともに成長するまちづくり

III 支えあい安心して暮らせるまちづくり

IV 区民が発想し、区民が選択する新しい自治

第4章 10年後に実現するまちの姿

10年後に実現するまちの姿について、4つの領域ごとに記載

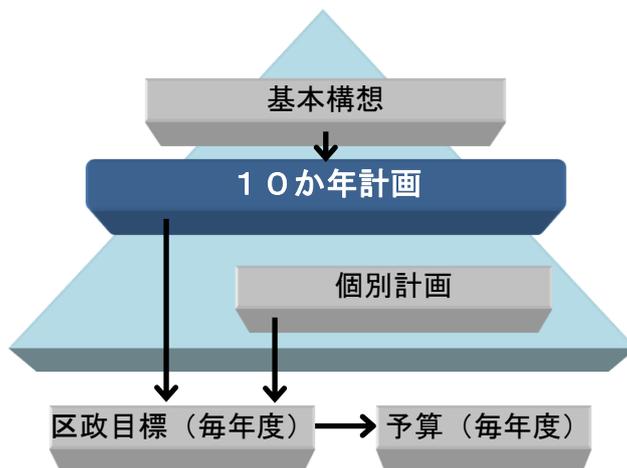
第5章 将来像の実現をめざして

基本構想と計画の体系及び行財政運営の基本原則について記載

(2) 基本構想と行政計画等との関係性

基本構想で描く「10年後に実現するまちの姿」を実現するために区が取り組むべき方策を明らかにする行政の基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」等との関係性は以下のとおり。

【計画の体系】



【計画の関係性】

